

1. 2014年度年会について

学習院大学が開催します2014年度年会は以下の通り行われます。

会 場：学習院大学目白キャンパス

日 時：2014年3月15日（土）より3月18日（火）まで
（市民講演会は3月15日（土））

開催情報のページ：<http://mathsoc.jp/meeting/gakushuin14mar/>

今回から、アブストラクト PDF のフォントをアウトライン化した結果をオンラインシステム上で確認する手続きを導入します。また、2013年度年会から講演の英文サマリー投稿を正式な講演申込手続きに加えしましたので、今回の講演申込でも同様をお願いいたします。

a) 講演申込について

この会で講演することを希望される会員は、原則としてオンラインシステムを用いてお申し込み下さい。オンラインシステムが利用できない会員のために講演の機会を保証する方法については、「4. オンラインシステムが使えない会員の講演申込・アブストラクト投稿について」をご覧ください。

「無限可積分系」セッションについても、講演の発表、募集は分科会と同じように公募形式を取り、アブストラクト集の作成、特別講演も分科会と同様に行います。講演希望の方は、オンラインシステムの「希望分科」欄を「XI 無限可積分系」として下さい。

書画カメラまたはプロジェクタの使用を希望される方は、「6. 年会開催校からの連絡」を必ず参照して、オンラインシステムで希望のものを申告して下さい。

なお、大会運営上の都合から講演時間及び講演件数を制限することもあります。

アブストラクト（予稿）原稿も、下記の注意に従ってオンラインシステムを用いて投稿して下さい。

オンラインシステム（APP サーバ）の URL: <https://app.mathsoc.jp/>

オンライン講演申込と予稿投稿の締切：**12月1日（日）23時59分**

（オンラインシステムの受付開始は11月8日（金）00時00分とします。）

申込件数の制限：応用数学分科会では、申込件数を1人当たり2件以内とします。

アブストラクト原稿：2011年度版会員名簿内の“学会アブストラクトの書式”（2011年度改訂版）に従って作成して下さい。オンラインシステム導入にあたって、書式を大幅に改定しましたのでご注意ください。（開催情報のページには“学会アブストラクトの書式”およびアブストラクト作成用 LaTeX クラスファイルのページもリンクしてあります。）

一般講演のアブストラクトのページ数は応用数学分科会を除き2ページを上限とします。また、応用数学分科会の場合は4ページが上限です。

過去7回の大会において講演申込・アブストラクト投稿にオンラインシステムを用いましたが、講演申込データの講演題目および共同発表者とアブストラクトの記述が食い違っている例が多数ありました。講演申込およびアブストラクト投稿の際は、このことについて十分ご注意ください。

アブストラクト投稿で、カラーの画像を含んだ PDF ファイルが散見されます。アブストラクトの印刷自体は白黒ですので、それがどのようになるかは印刷所の状態によります。情報システム運用委員会では画像の白黒化はしない形で分科会評議員と特別セッション責任者に PDF を渡すことにします。また、今後アブストラクトを会員内で公開する場合も、カラーの画像のままとします。以上のことをご理解の上で、カラーの画像を PDF に含めるようにして下さい。

キーワード・分類コード：数学基礎論および歴史，函数論，実函数論，統計数学，応用数学各分科会への講演申込にあたっては，オンラインシステム上でそれぞれ次の分類コードから選択します．この場合，オンラインシステムではキーワード・分類コードの選択がないとエラーとなりますのでご注意ください．

数学基礎論および歴史分科会：1 [数学基礎論]，2 [歴史]

函数論分科会：1 [1変数函数論]，2 [多変数函数論]

実函数論分科会：1 [フーリエ解析]，2 [関数空間]，3 [発展方程式]，
4 [バナッハ空間の幾何，不動点定理]，
5 [測度論，積分論]，6 [その他]

統計数学分科会：1 [確率論，確率過程論]，2 [計画数学]，
3 [確率分布，標本分布，乱数]，4 [実験計画法]，
5 [多変量解析]，6 [時系列解析]，
7 [ノンパラメトリック解析]，8 [漸近理論]，9 [応用統計]，
10 [推測理論]（3-7に含まれないもの），11 [その他]

応用数学分科会：1 [解析系応用数学]，2 [離散系応用数学]，3 [その他]

上の分類コードは，講演申込数の動向などに応じて改訂を検討することになっておりますので，ご意見を連絡責任評議員までお寄せ下さい．

講演題目中の数式：すでに数学通信14巻4号の会報でお願いしましたが，講演題目に用いる数式は最小限に留めるようお願いします．

b) 学会講演申込書・学会プログラムの名誉教授の扱いについて

2008年3月28日の理事会にて「学会講演申込書には名誉教授であることをご明記いただき，学会プログラムでは名誉教授を表すマークを付けて所属欄に記載する」と決定しました．名誉教授の先生方はお忘れないようにお願いします．オンライン申込では例えば「*大名誉教授」とご記入下さい．

c) 講演申込データとフォント・アウトライン化したアブストラクト PDF の確認について

前回までの大会と同様に，確認のために講演者名と所属，講演題目などの講演申込データをウェブ上で公開します．これに加えて今回の大会から，アブストラクト PDF のフォントをアウトライン化した結果に文字化けがないか確認していただきます．

12月24日（火）に年会開催情報のページにおいて講演申込データを公開する予定です．また，それと同時に講演申込とアブストラクト投稿を行ったページにおいてフォント・アウトライン化後の PDF を確認できるように設定します．講演申込を行った会員は，オンラインシステムの講演申込のページにログインをしてご確認下さい．

講演申込データおよびアブストラクト PDF を確認した結果，問題が見つかった場合は，**12月27日（金）までに** [program14mar\(at\)mathsoc.jp](mailto:program14mar@mathsoc.jp) にご連絡下さい．

講演申込データについて軽微な字句修正につきましてはお断りする場合もあることを予めご承知下さい．また，いかなる理由があっても，フォント・アウトライン化のプロセスで生じた問題以外では，アブストラクト PDF の差し替えは固くお断りします．

アブストラクト PDF の確認については，開催情報のページからリンクしてあります「フォント・アウトライン化したアブストラクト PDF の確認について」

<http://mathsoc.jp/meeting/gakushuin14mar/outline.html>

をご覧下さい．また12月24日（火）に講演情報の公開とアブストラクト PDF の確認についてアナウンスしますので，そこに記載されています注意をよく読んで下さい．

d) 会合の申込について

各分科会または研究団体で、会合のために部屋の準備を必要とされる場合は、オンラインシステムで申請をお願いいたします。①会合の名称、②責任者の氏名・連絡先（電子メールアドレス、なければファックス番号または電話番号）、③使用の日時・人数、④弁当の有無等、⑤プログラムへの掲載希望を、オンラインシステム上の様式に従って記入して下さい。

分科会の会場を使つての会合に関しても、分科会のプログラムや全体の「委員会等日程」への掲載の必要がある場合は、必ずこのシステムを通して登録をお願いします。また、お弁当の数の開催校への連絡も、登録のあった会合申込のページを通して会合申込の期限後に行います。

なお、期限後の申込については、会場確保が不可能となる場合もあります。

オンラインシステム上での会合申込：<https://app.mathsoc.jp/kaigi/>

申込期間：11月8日(金) 00:00から12月8日(日) 23:59まで

e) 無限可積分系

このセッションについては、日本数学会理事会の責任において開催しますが、今回の実務的な責任者は長谷川浩司会員（東北大学大学院理学研究科）です。

f) 企画特別講演について

企画特別講演は、大学院生などの若手会員にとって、年会・総合分科会への参加がより意義のあるものとするを目的としています。講演者は、分科会評議員および「無限可積分系」セッション責任者からの推薦をもとに、理事会が決定いたします。講演は、学会期日中の第1日、第3日、第4日の3日間の13:00～14:00に並行して複数の講演を開催します。この時間は一般講演・特別講演等の通常プログラムは設けません。また、アブストラクト集は総合講演アブストラクトと合わせて作成します。

g) 書籍等展示の申し込みについて

賛助会員で書籍等の展示を希望される場合は、申込書2枚（日本数学会理事長宛、大会委員長宛）を申込締切12月2日(月) 厳守で下記（展示とりまとめ当番社）へお送り下さい。（締切後の追加申し込みはご容赦下さい。）

送り先：〒113-0033 文京区本郷5-28-1

(株)友隣社

電話:03-3814-0275 FAX:03-3814-1156

h) 電子メールアドレス

大会の準備のためにいくつかの電子メールアドレスを用います。以下のリストのアドレスには@mathsoc.jp を付け加えて下さい。

大会に関する全般的な照会	gakushuin14mar
講演題目の確認、講演のキャンセル、会議室関係など	program14mar
入会希望者の仮 ID の申込、Activation Key の照会	member
オンラインシステムに関する質問	inquiry.mgate2013
オンラインシステムが使えない会員のためのサポート	app-support
理事長	president
オンラインシステムの担当理事（戸瀬信之）	tose

今後はオンラインシステムに関する照会窓口を年度や大会ごとに設定しますので、

よろしくお願ひします。